

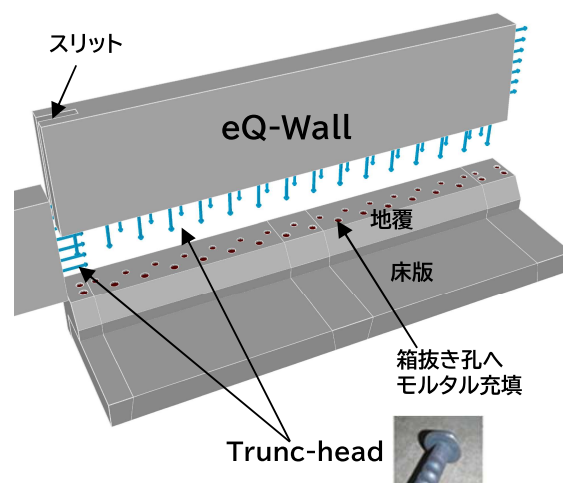
プレキャスト壁高欄「eQ-Wall®」

■プレキャスト壁高欄「eQ-Wall」とは

プレキャスト壁高欄「eQ-Wall※¹」（イーキューウォール）とは、壁高欄から突出させた鉄筋先端に円錐形状の突起を設けた鉄筋「Trunc-head®※²」

（トランクヘッド）を、地覆部の箱抜き孔および壁高欄接合断面のスリットに収めて無収縮モルタルで定着・接合する構造です。

本構造は、現場での追加部材を一切配置せずに作業が完了するため、現場作業の省力化や施工の急速化が図れます。



プレキャスト壁高欄「eQ-Wall」の概要

■特徴

- プレキャスト壁高欄「eQ-Wall」は、車両用防護柵の種別SS以下の規格に適合した製品です。高速道路会社の試験法（NEXCO試験法441）に準拠した衝突試験を実施し、壁高欄の衝突安全性が確認されています。
- 橋梁の支点上ならびに壁高欄端部のプレキャスト部材にも適用できます。
- 壁高欄設置後、接合目地部（幅30mm程度）に型枠を組み立て、無収縮モルタルを注入するだけで構造が成立します。場所打ち壁高欄と比較すると、約2倍の速度で壁高欄の設置ができます。



衝突試験状況（NEXCO試験法441）

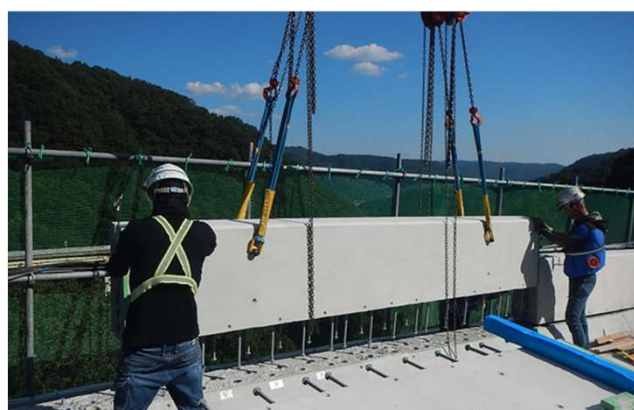
■適用現場

工事名：東名高速道路（特定更新等）

裾野IC～沼津IC間床版取替工事

発注者：中日本高速道路株式会社

他 工事物件11件、施工中2件（2026年10月時点）



実橋でのプレキャスト壁高欄設置作業

※1 特許第6537369号「プレキャスト橋梁部材」

※2 鉄筋端部を鍛造により円錐台形状に加工した機械式鉄筋